



杉退教・さくら会 たより

杉並区退職教職員の会（さくら会）

杉並支部HP <http://tokyousosuginami.web.fc2.com>

〒167-0031 杉並区本天沼 1-2-19 都教組杉並支部内 Tel 3399-8719 Fax 3399-3855

「安心できる普通の生活を早く取り戻そう」



子どもの姿が見えない学校…

元松溪中学校 Y.Kzuhiro

新型コロナウイルス感染の拡大は、世界的流行のパンデミックとなりました。中国武漢での発生が1月に公表されてからの日本政府の対策は後手後手に陥り、特にクルーズ船への対応は世界から批判されました。その根本にあるのは、安倍政権が国民一人ひとりの不安や心配を真剣に考えていないのではないかという不信感です。この間、内閣の支持率は下落し、不支持率と拮抗しています。

《国民に説明もなく突然の学校休校》 《PCR検査受けたい人も受けられない。日本では1日1000件・韓国では10000件》 《グローバル経済（アベノミクス）の弱点露呈》 《株価の大暴落》

※詳細は省略しますが、これは「九条の会浜田山ニュース」の4月号に掲載した内容です。

いま、日本では前掲のようにコロナショックで、てんやわんやの大騒動です。感染がわからず、無症状の人が多という話しに、不安感が増します。にもかかわらずPCR検査はいっこうに増やさない。

それにしても、日本の政治力がどれ程のものか、今回の感染症対応で明らかになったと思います。言葉ではいいねいな、安倍政権の国民の安心・安全という政策が、本当に心許なく、国民生活に密接する日本の安全保障など何も考えていないことがわかりました。

すべてが「2020年 東京オリンピック・パラリンピック」の金儲けのためであったのですね。1年延期がどのような経済効果をもたらすかわかりませんが、
(次ページに続く)

世界経済が封鎖状態で、経済成長が半分になるという不安が株価の大暴落になっています。ここで大儲けした人もいっぱいいるでしょうね。無収入になったフリーランスはどうしたらいいの？

子どもたちは家にいて、新学期を楽しみにしていたのですが、これから先どうなるのか不安だらけですね。学校の先生は学年末・新学期と大変な対応をしていらっしゃるでしょう。想像がつきます。忙しい、忙しいとの大声が聞こえてきそうです。でも、子どものいない学校って、どこか安心？しますよ。ごめんなさい。

日本の国力がどうなのか、しっかり見ていきましょう。おかしいことはおかしいと、今こそ声を発し続けることが一番大切でしょう。グretaさん、フランシスコ教皇、中村哲さんなどの声を大きくしていくことが必要と思います。

高齢者であり、基礎疾患を抱える私たちが、安心できる普通の生活を早く取戻せるように願っている次第です。
(3月26日 Ya)

「ザ・ミゼラブル」の舞台を訪ねる旅

【第3回】 前回は2018年9月号でした 元大宮中学校 I.Motoe

武漢に端を発したコロナウイルスは、精神年齢40代と自負していた私を実年齢の高齢者へと戻し、自宅蟄居を余儀なくさせ、加えて、本年7月に予定していた『レ・ミゼラブル』の舞台を訪ねる旅を中止、来年に延期へと導いてしまった。

2014年10月に始めた『レ・ミゼラブル』の舞台を訪ねる旅は、2017年6月、2018年5月と重ね、今年の第4回で終了の予定であった。

今回は、作者ヴィクトル・ユゴーの19年間の亡命先であり、『レ・ミゼラブル』を執筆したガーンジー島をメインに、印象派の画家たちの舞台でもあり『アルセーヌ・ルパン』シリーズの作者モーリス・ルブランゆかりの場所でもあるノルマンディ地方を見学場所に組んでいた。7年がかりの旅も遂に終わるのだと、詳細な計画にとりかかろうとしていた



モンフェルメイユの町から「コゼットの泉」



モンフェルメイユの町から「ジャン・ヴァルジャン通りの看板」

矢先の出来事である。

中止のメールに「待つのもまた楽しみ」と返事をくれた旅仲間の言葉に胸を熱くしていた折しも、仏映画「レ・ミゼラブル」公開の新聞記事を見つけた。三部作の第一部で、かのコゼットが預けられたモンフェルメイユの町の実態を描いているという内容だった。配給会社はタイトルの適否に迷ったが原題通り「レ・ミゼラブル」を採用したという。※

モンフェルメイユの町は第1回の旅で訪れたのだが、バス停に並んでいた人たちの中に白人の姿はなかった。ワゴン車から眺める町は明らかに移民の町だった。旅の最初に訪れた、ジャン・ヴァルジャンが市長となったモントルイユ・シュール・メールの町の静かなたたずまいとあまりにも違っていた。友人の妻との姦通現場を踏み込まれて、ほとぼりが冷めるまでとユゴーが潜んだ当時もきつと雑然としていて、潜むにはうってつけの町だったのだろう。帰り道、パリまでは高速道路で30分ほどだった。

1862年1月1日、ユゴーはその序の中で、「地上に無知と悲惨とがある間は、本書のごとき性質の書物も、おそらく無益ではないであろう（岩波文庫/豊島与志雄訳）」と述べている。1818年、画家ゴッホはゴッホに贈った自画像に『レ・ミゼラブル』と名付けた。そして2020年、映画「レ・ミゼラブル」は現在を活写する。

「高齢者読書」、そう名付けて、私は今、書名を知っているが未読だった本をひたすら読んでいます。過去の本の登場人物たちが、現実と絡んで、重く深く迫ってくる。
(164号=「再読をする意味」参照ください=係)

※ ビクトル・ユゴーの小説「レ・ミゼラブル」で知られ、現在は犯罪多発地区の一部となっているパリ郊外のモンフェルメイユを舞台に、現代社会が抱えている闇をリアルに描いたドラマ。2019年・第72回カンヌ国際映画祭で審査員賞を受賞。パリ郊外に位置するモンフェルメイユの警察署。地方出身のステファンが犯罪防止班に新しく加わることとなった。そんな中、イッサという名の少年が引き起こした些細な出来事から、事態は取り返しのつかない大きな騒動へと発展してしまう。現代版

「レ・ミゼラブル」2019制作/104分/フランス映画

これとは別に、イギリスBBCが制作した「レ・ミゼラブル」をNHKテレビが8回にわたり放映。5月3日に完結。平均45分×8回(合計6時間14分)

*ブルーレイディスク2枚に録画しました。



「モンフェルメイユの町の看板」

3・11から9年—

全線開通の常磐線に乗って福島へ—

2020/3/18/19



特別報告

元松溪中学校

K. Keiko

みなさま、いかがお過ごしですか？

毎年春は、昔の仲間と会ういくつかのイベントのある季節でしたが、そのすべての集まりがなくなり、私のカレンダーはXだらけになってしまいました。お陰様で読書と終活の片づけが進んでいます。こんな時は近況を報告し合うことかなと思って手紙を書くことにしました。テレワークが流行っているのだから、テレおしゃべり会っていうのもできるのかもしれないね。勝手に近況報告です。もしお暇なら是非お返事を。

3月18日・19日—あの日から9年たって全線開通なった常磐線に乗って福島に行ってきました。線路の周りだけがオリンピックに合わせて整備されたという景色でした。その報告です。

3月14日に9年ぶりに全線開通した常磐線-特急「ひたち3号」-に乗って、双葉駅に降り立った。初めて下車する駅なので、震災前がどんな駅舎だったか知らないのだが、多分真新しい駅舎なのだろう。第一原発が一番近い駅なわけだから、避難解除しているのは駅周辺だけなのだろうし、駅舎の豪華さと駅前の9年前そのままの数軒の店の姿が心に染みる。カーテンの隙間から覗くと、中に壊れた陳列棚と商品が散乱している。

駅前をうろろしていると、駐車場に止まった車から、防護服を脱ぎながら、首から線量計を下げた女性が下りてくるのが見えて、思わず声をかけた。

原発近くの帰還困難区域の「山田」に家があり、今は埼玉に避難しているそうだが、許可を得て墓参りに行ってきたところなのだという。そういえば今日は彼岸の入りだ。「駅前だけがこんなにきれいになって、何でしょうね。私たちはもう帰っては来ませんが……。政治に翻弄されてきました。もっと声を出さないといけないんですね」と怒っていた。これから浪江



新装なった双葉駅。左に見える時計は2時46分を指しているあの時の時計。

に食事に行くのだという。

「3月26日にここを聖火リレーが通過します」の真新しい看板が何か痛々しい。(看板は今もそのままかなあ?)

双葉町役場の駅前連絡所を訪ねて町役場の職員に話を聞く。県の職員を退職後再雇用でここ双葉町役場に来たという職員さんは、個人的に思うことと前置きして、これからの双葉町の復興や原発事故処理問題を率直に語ってくれる。



駅前の店は9年前のあの日のまま。オリンピックの聖火リレーの案内板が。

地図を広げて、「駅のこちら側にはアスファルト工場を誘致して、線路の南側にはURの住宅を建て・・・新しい事業を起こして、新しい人々を呼び込んで新しい街づくりをする。」

なるほど未来を考えるとそういう選択にもなるのか。翌日、飯館村役場を訪ねて若い職員さんの話を聞いたが、彼も同じようなことを語った。

町や村の復興に命懸けで挑んでいる彼らには当然のように、あの3月11日以来、時計の針は止まったままで、暮らしや生業を奪われてしまった人々とは違う時間が流れ、心の持ちようの違いも大きいかもしれないと改めて気づいた。でもきっと、行政の職員や議会の中でも、今になったからこそ思うことの違いが大きくなったともいえるのかもしれない。「浪江町議会が『汚染水流出』に反対決議を挙げたけれど、うちではできないんです」と語った、大熊町議員木幡ますみさんの言葉が分かる様な気がする。

車で走ったところのどこにも、まだまだ野積みフレコンバックがあり、それを中間貯蔵施設に運ぶのだらダンプが走り、そして大熊・双葉の中間貯蔵施設となった場所はこれからどうなるか、最終処分場はどこになるのか、ならないのか。泥の地帯の奥に見える焼却施設ではゴミを燃やしているのだろうか。そして、第一原発周りの空地を埋め尽くすタンクの汚染水は彼らの言うように流せばいいのか。やっと漁業を再開して、少しでも生業を取り戻した人々の痛みを「ごね得を狙っているのだ」といわんばかりに語る行政マンもいるわけで、何年たっても生きている限り考え続けること、行けるうちは見続けることをやめないでおこうと思った、また今回も意味ある旅になった。



〈日本平和委員会からの呼びかけです〉

憲法審査会への改憲案提案を中止し、党派を超えて新型コロナ対策へ全力を

安倍首相は、四月七日の衆院議院運営委員会での質疑の中で、「(緊急時に) 国家や国民がどのような役割を果たしていくべきか、...そのことを憲法にどのように位置づけるかについては、極めて重く、大切な課題」と発言。憲法に緊急事態条項を創設する自民党改憲案の論議を憲法審査会で進めるよう、呼びかけました。
自民党幹部からは「(新型コロナウイルス感染拡大は) 緊急事態の一つの例。憲法改正の大きな実験台」などの発言が繰り返されています。

改憲は緊急性がまったくなく、国民の多数も求めていません。国民の間に大きな意見の相違がある問題を、コロナ感染で国民が政治的立場を超えて連帯すべき時に持ち出すなど、国民を分断するものであり、言語道断です。

しかも、自民党の改憲案の緊急事態条項は、武力攻撃事態も含む大規模災害時に政府に権限を集中して国民の権利を制限するものであり、集団的自衛権行使を可能にする憲法9条改悪と一体のものであります。

このような危険な改憲策動を国民がコロナ感染で危機に瀕しているときに、火事場泥棒的にごり押しするやり方は、断じて許せません。

憲法審査会への改憲案提案のたくらみをただちに中止すべきです。

2020年4月21日 日本平和委員会



1	2	3	4	9	4	5	2
カ	ン	ト	ク				
2	11	1	5	6	11	6	9
7	5	6	9	7	7	8	10
11	1	9	1	2	8	10	11
5	6	1	4	9	10	11	1
6	9	3	11	5	6	3	2
9	8	10	5	2	11	4	7
10	1	11	3	6	7	11	2

ホワイトナクロ・挑戦!

カントク をヒントに答えを考えましょう。カントクが自宅待機なら・・・も!

(文字対応表の2か所に黒マスが入る)

文字対応表

1	2	3	4	5	6
カ	ン	ト	ク		
7	8	9	10	11	

回 答

5	2	7	8
---	---	---	---

*「ナクロメイト」19年2月号から拝借しました。自宅待機の暇つぶしにはなによりです。本屋さんで新刊を購入しては・・・。